

令和8年5月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和8年5月28日(木) 午後2時00分
閉 会 : 令和8年5月28日(木) 午後3時10分
会 議 場 : 歴史文化伝承館5階第1会議室

出席委員 : 1番委員 浅海 純一
2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 山越 達也
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 峯岸 克典
保健給食課長 内海 典子
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐藤 紀子
秩父図書館長 石間戸 美佐

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和8年5月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び2番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和8年4月22日に開会された4月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 令和8年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査の終了報告である。全国学調は、小学校6年生の国語・算数及び質問紙調査、中学校3年生の国語・数学・英語と質問紙調査、埼玉県学力・学習状況調査は小学校4年生から6年生の国語・算数と質問紙調査、中学校1年生の国語・数学と質問紙調査、中学2、3年生の国語・数学・英語と質問紙調査がそれぞれ行われた。1人1台端末を使った質問紙調査や英語を話すことの調査のため、4月から5月にかけて分散して無事に終了した。結果は7月に返却予定である。

また、各学校の5月、6月は、1学期の様々な教育活動が充実する時期でもある。運動会の開催、修学旅行の実施、林間学校や各学年の校外学習の実施など、行事をとおして、主体性や協調性、責任感や思いやり等が身に付く、かけがえのない一生涯の良き思い出づくりにもなり、児童・生徒の成長が大きく期待される。事前の計画通りに、無事に終了することを願っている。なお、修学旅行は、今年度も小学生が1万円、中学生が2万円、申請により保護者へ補助される。

次に、秩父地区1市4町で組織される第15採択地区の教科書展示会が、6月12日から25日までの14日間、午前10時から午後5時まで(ただし土曜日、日曜日は午後3時まで)、秩父市歴史文化伝承

館2階会議室を中心に開催される。委員の皆様にも、各発行者の教科書をご覧いただき、研究を深めていただければと思う。

1 番 委 員 : 教育連合会関係の総会について、報告する。

まず、5月13日に、秩父地区の連合会の総会があった。議事も滞りなく終了し、その後、今年度の研究委嘱校の委嘱式があり、5校に委嘱状が交付された。

続いて、5月20日(水)に、全国市町村教育委員会連合会総会が東京市ヶ谷で開催された。秩父市は、今年度県の副会長で代議員として、出席要請があり、総会に出席した。午前は総会と功労者表彰、午後は文科省初等中等教育改革課長から教育の施策の動向と題して講演があった。現在の国の動向がよく分かる説明であったが、資料が220ページもあり、急ぎ足で課長も説明をしていたが、絞って説明してくれないかなと思った。特に気になったのは、公立小・中学校の適正規模・適正配置で、説明の中に全国の小学校の約4割、中学校の約5割が、標準学級を下回っているという話であった。これだけ、大きな問題、課題なのだと認識させる試算であるが、文科省も国の伴走支援を考えているということで、各自治体では、周辺市町村地域を巻き込んで広域化とか、首長部局を含めて、総合化とか、ICTを活用した現代化の観点で議論をして欲しいという説明があった。秩父地区も、どの自治体も同様な課題があるかな、ということで、地域の情報を共有しながら進めていくことが大事ではないかと感じた。

翌日21日には、埼玉県教育委員会連合会の総会が、狭山市であり、総会の終了後、記念講演会があった。防災教育とそれを教育にリンクするという話で、慶應大学の木村聖子准教授に講演をしていただいた。この方は、全国の学校で防災教育に関わっていて、避難訓練をより現実的なものにしていく取り組みをしている。埼玉県でも、西部地区の川越市の学校を頻繁に訪問して、防災訓練・防災教育を指導、助言しているという話であった。校庭に集まるだけの従来の訓練を実際の地震災害に照らして、改善する探究型訓練を行うことで平時の教育にも、大きな変化をもたらすという話である。学校施設は全国の99パーセントが新耐震基準をクリアしていて、基準が一般住宅の1.25倍に設定されているので、阪神淡路大震災以降、7回震度7の揺れが発生したが、学校は1つも倒壊していなかったという事である。揺れが起きたら、校舎は壊れないが、非構造物の蛍光灯などが落下するので、机の下に身を隠すということである。その状況の中で、避難訓練が校庭に集合するのが、本当にそれでいいのかという疑問を投げかけて、校舎と校舎を繋ぐ渡り廊下が、危険な場所であって、その渡り廊下の下を避難経路にしているのは、非現実的だという話もあった。怪我人や体調不良者が出た場合にどう対応するか。それは、訓練では起きな

い想定になっているが、過去の例では、高確率で起こっていて、その対応をどうするのかということも、避難訓練で確認をする必要があるのではないかと、非常に具体的な話がたくさんあった。

この防災訓練は、大変だが首都直下型大地震が、起こるという頻度が高まっている中で、この重要性は、興味あるもので、大木聖子氏の事例を参考にしてもいいのかなということを感じた。

2 番 委 員 : 30日(土)に、小学校で運動会が実施予定である。私は南小学校に行く予定で、元気な子ども達の様子や佐々島新任校長の采配ぶりを是非見てみたいと思っている。ただ、心配なのが当日の天気予報が、30度を超え真夏日で児童を始め教職員の健康を心配している。特に、学校がどのような熱中症対策、事前準備をしているか、見てきたいと思っている。

1点申し上げるが、異常気象の続く現状を踏まえ、また、6月の梅雨入り前に、児童・生徒の登校時の通学路の危険箇所等がないかどうか安全確認、点検をしておいていただきたい。学校で足らないところは、全て学校ができるという訳ではない。

児童生徒教職員数集計表見ても、高校に比べると特に小・中学校は教職員の数が少ない。小中規模の学校で考えると教員1人1人の仕事量が相当多いことは、数字を見ても読み取れるので、学校で足らざるころは、積極的に地域に協力を求めても良いのではないかと思う。それは、当然公務員たる学校がすべきだという、べき論だけでは通じないので、今、熱中症だけではなくて、熊も出てきているし、大変な時こそPTAや地域の皆さん、学校運営協議会等があるので、協力要請をしていくことも、決して恥ずかしいことではないし、できないところは積極的にお願いをしていくことがあっても良いのではないかと思う。また、5月の末で、年度当初ともいえない時期であるが、今、児童生徒保護者への面談指導等が優先されている。適応指導等も含めて、面談、生徒指導中心に、学校経営もなされていると思う。その中で、小学校であれば、校庭にある遊具であるとか、グラウンドや校舎内外、体育館以外の施設設備の安全確認が案外後手に回ってしまう。人間中心というか、生身の子ども達の方に、集中していってしまう。この時期、不登校ぎみの児童生徒はいないかとか、どうしてもそちらに集中がいつってしまう。結果、学校の安全管理を見逃してしまうようなところが出てしまうことが多い。中学校であれば、体育時の使用の教具や部活動時の教具であるとか、このところ起きていないが、サッカーのゴールポストが倒れて、下敷きになったということが、手を抜くと起こってしまう。ですから、老朽化して危険な箇所はないか、子ども目線で見ると危険なところはないか、特に、教職員の少ない小中規模の学校については、先生方がクラスの児童・生徒で手一杯であるので、管

理職は率先して安全点検等を行っていただきたいと思う。施設設備に関しては、安全点検は、年間を通して計画的に、実施していくのが原則だが、遺漏がないようお願いをしたいと思います。

3 番 委 員 : 前回の定例会後に今年度初めての授業参観がある学校も多く、1年生は少し緊張気味であったが、元気に発表したりしている様子や尾田蒔小学校では、6年生が家庭科の参観で普段見られない班での協力や作業を見られてよかったと思う。6年生の保護者会では、修学旅行についての説明などを受け、準備をし、5月先々週に何校かが、雨の心配もある学校もあったが、班行動など歩く時間は降られることなく、楽しく仲間と協力し、色々体験してることができたようである。

高校ではあるがバスの事故があり、中学校の部活動の地域展開も進んでいく中で責任の所在などをはっきりさせてもらい、また、そのことを保護者に伝えてもらえると良いと思う。今の段階で、部活動が平日も無くなると思っている保護者の方が多いようで、結構「無くなるんだよね」という声も聞いているので、その辺もはっきり学校や教育委員会が学校通してとかで、示していただけた方が良いと思う。

中学校の制服で、校則に書かれていたり、書かれていない学校と分かれているが、女生徒でもズボンをはいたり、兄のお下がりの学ラン等を選んで、学校に登校できるようになっているということで、スカートではちょっとと思っているちゅうちょするような子も好きなものを選んで行けることは、良いことと思うが、まだ、そういう子は少ないので、違うことに対して、いじめの原因にならない事を願う。

先週からの運動会開催は、5月で暑さ対策が求められている状況であるが、今週末は暑さも心配があるということなので、子どもだけでなく先生方も水分補給、休憩を取って、無事に楽しく元気に競技してもらえたらと思う。

4 番 委 員 : 5月23日(土)、原谷小学校の運動会に臨席した。当日は、肌寒い天候で、児童は半袖半ズボンで終始元気に活動して、選手宣誓や応援合戦でも大きな声が響き、活気あふれる運動会となっていた。また、先生方も児童への声かけや誘導を明るく丁寧に行いながら、全体にきびきびと運営されている姿が印象的であった。徒競走では学年毎の成長の様子がよく感じられ、1年生と6年生の間の数年間の体格、体力の成長が見て取れた。また、上級生による三色リレーは迫力があって、見応えのある競技であった。更に、1、2年生による玉入れは、可愛い踊りと競技を組み合わせた内容で会場全体が、温かな雰囲気にも包まれていた。印象に残ったのは、5、6年生による大玉転がしで、得点種目としての公平性を大切に、赤青黄色の大玉のそばに黄色の旗を持った教諭がそれぞれに配置され、スタートや通過地点を正しく通過しているかを確認しながら、競技進行を支えていた。競技者である児

童達だけでなく観客にとっても、公平に行われ、正々堂々とした運営が分かりやすく示されており、大変安心して応援できる素晴らしい工夫であった。ジャッジをしながら、駄目な場合はもう一度、大丈夫であれば、笛が吹かれて、競技が継続という形であったので、曖昧な想像不安がなく、きちっとした審判がそばに付いて行われるのが、非常にルールに則って、公平性を重視する姿勢が、大変児童の学びへも繋がるように感じた。5月の開催で新学期から日も浅かったが、子ども達がきびきびと、張り切って、明るい笑顔で小学校の運動会っていいなと感じた。また、11時20分に終了する無駄、無理のないプログラム構成で、児童教職員相互に配慮されたプログラムだと思う。

一方で、コロナ禍が過ぎ、コミュニケーションが取れるようになったので、地域の皆様も伝統的に踊った秩父音頭で、郷土色が出たり、体で郷土の特徴のある踊りの復活を期待したいと思った。

(2)事務局からの報告事項

事務局長：市議会について、2点報告する。

4月19日に行われた秩父市議会議員一般選挙の後、初めての市議会が5月20日(水)に臨時会として開催された。臨時会の初めに正副議長選挙が行われ、議長に赤岩秀文議員、副議長に小松穂波議員が選出された。その後、常任委員会委員の選任及び委員会の正副委員長の互選などが行われ、各委員会の委員長、副委員長が決定した。文教福祉委員会は、委員長に宮前昌美議員、副委員長は堀口義正議員となったので、ご承知おきいただきたいと思う。また、臨時会に付議された議案は、専決処分が3件、財産の取得が2件、人事案件が1件の計6件であった。専決処分3件については、条例の一部改正、財産の取得2件のうち1件は、大滝総合支所と影森小学校に太陽光パネルを設置するものが1件、もう1件は、全ての中学校の照明をLEDに交換するものである。該当する影森小学校と全ての中学校においては、今後、工事の時期や内容について、打ち合わせをしながら安全に行っていきたいと思っている。人事案件については、監査委員に木村隆彦議員が選任された。

続いて、秩父市議会6月定例会の予定についてである。お手元に令和8年6月定例会会議日程案を配布したので、後ほどご覧いただきたい。日程は、6月3日に開会をして、6月8日が議案に対する質疑、6月11日は、文教福祉委員会であるが、今回は文教福祉の議案がないため、休会となる。6月15日から17日までの3日間が市政に対する一般質問で、6月24日が閉会の予定となっている。なお、一般質問には、5名の新人議員を含む、12名の議員が登壇する予定で、答弁については、来月の定例会で報告をさせていただく。

学校指導監 : 3点報告する。

1点目、市内小中学校の修学旅行についてである。今年度、小学校の修学旅行は、今月14日出発の尾田蒔小学校に始まり、12月11日までの間に、12校が実施予定である。荒川東小学校は、今年度5、6年の合同宿泊学習を行う為、修学旅行の実施はない。目的地は、ほとんどの小学校が鎌倉方面である。次に、中学校の修学旅行であるが、6月2日出発の秩父第二、高篠中学校に始まり、6月11日までに8校市内全中学校で実施予定である。行き先は例年どおり京都奈良方面である。

2点目、令和8年度人事評価実施に伴う校長の当初面談についてである。5月18日25日26日の3日間で、全ての小中学校長と教育長が年度当初面談を行った。面談では、各校長から学校経営や教職員の管理指導等について、自己申告いただき、各校における目標及び方策、目標達成に向けた手順等について確認した。

3点目、春の運動会、体育祭についてである。5月16日(土)に荒川西小学校、23日(土)に原谷小学校、25日(月)に、延期になった荒川中の体育祭が実施された。30日(土)は、南小学校と吉田小学校が実施予定である。天候等により順延、延期になることもあるかと思うが、ご承知おきください。

教育総務課長 : 1点報告する。

全国的な調査である学校基本調査と施設台帳調査が、5月1日を基準日として行われている。施設台帳調査については、6月上旬までに、メールでデータ提出、学校基本調査については、5月19日に受領会が開催された。学校基本調査による本年度と昨年度分の児童生徒教職員等の集計表を2枚配布したのでご覧いただきたい。先月、学校指導監から4月1日現在の人数について報告があったが、5月1日現在の児童・生徒数は、小学生が2,310名で前年度から119名の減、中学校が1,304名で前年度から27名の減となっている。なお、各学校毎の詳細については、後程、確認いただきたい。

2番委員から、学校の遊具等の安全点検について話があったが、各学校の校長先生によると、毎朝点検しているという話は聞くので、学校でも毎日点検していると認識している。それに加えて、教育総務課でも委託により、毎年1回、業者による小学校の遊具点検をしている。中学校の体育器具については、2年に1回委託により安全点検を行っている。安全管理上の問題があるので今後も継続して行っていく予定である。

学校教育課長 : 3つの補助金の申請率について、報告する。

1つ目、令和8年4月に小学校へ入学した児童への入学祝い金は、対象者が339人(4月以降転入した3名含む)で、申請率は100パ

ーセントである。

2つ目、修学旅行補助金は、対象者が707人で、申請者が701人で申請率は99パーセントである。

3つ目、卒業祝い金は、現在も受付中で、1人当たり2万円を令和8年3月で、中学校を卒業した生徒を対象に交付しているが、議会終了後の3月19日に案内通知を発送した。4月30日で、一旦区切り、その時点で対象者463人に対して申請者445人で、申請率は96パーセントであった。その後18人に再通知をして、本日までに、18人の内12人の申請があった。本日時点で申請者が457人で、申請率は約99パーセントである。未申請者は6人である。これまでの補助金の申請状況を見ると、1回の通知で概ね90パーセント以上の方が申請をしている。最後の数人については、何度通知をしても申請が出てこない傾向となっている。せっかくの補助金であるので、100パーセントを目指して、事務を進めていきたい。

保健給食課長 : 1点、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済について、報告する。学校管理下で、児童・生徒の事故災害はゼロが望ましいが、この保険は、万一起きてしまった事故災害によるけが等に対応するものである。令和7年度の発生件数は、小学校が134件、中学校が158件、合計292件で、給付金額は、3,201,234円であった。令和6年度に比べ、発生件数で61件減少しているが、給付金額は、453,114円増額となる。令和8年度も5月1日現在の在籍者の加入手続きを行った。昨年度の加入状況と比べ、加入者が145名の減となっている。

文化財保護課長 : 1点、上吉田塚越集落で行われた埼玉県指定無形民俗文化財「塚越の花まつり」について報告する。「塚越の花まつり」は、毎年5月4日の朝、集落の小学生が熊野神社を出発し、花びらを撒きながら、お釈迦様を山の上の薬師堂へ届ける祭りで、多くのカメラマンや観光客が訪れる民俗行事である。しかし、集落の著しい過疎化と少子高齢化により塚越集落には小学生がいない状況で、近年は隣の集落や帰省した地域出身者の協力で祭りに参加する小学生を確保し、続けている。

本年は、前日夜に激しく降った雨が当日早朝まで残っていたため心配されたが、祭り前には止み、無事に祭りが開催された。ただ、参加した小学生の数は、確認した限りでは、6名程度と例年と比較しても少ない人数であった。また、蒔くための花びらがなくなる様子も見られ、保存会に確認したところ、今年は全体的に花の開く時期が早かったために予想以上に集められなかったとの話があった。

文化庁も以前からこの祭りに注目しており、民俗行事として、非常に高く評価しており、一方で祭りの状況を踏まえ、毎年状況把握に努めるとともに、後継者の確保と継承環境の整備について検討して

ほしい旨の話をいただいた。保存会の会長からは「今後も変わることなく我々のお祭りが続けられるようにしたい」との力強い言葉をいただいた。文化財保護課としても、この祭りが、長く継承されるよう地元と協力していきたいと、改めて痛感した。

教育研究所長 : 2点報告する。

1点目、荒川西小学校の閉校に向けての今後の予定についてである。閉校に向けて大きなイベントを3つ計画している。

1つ目、9月11日(金)、12日(土)の2日間で行われる校舎のライトアップお泊まり会である。11日は流しそうめん、赤十字の協力による炊き出し、けんちん汁。夜には校舎のライトアップを行い、学校に宿泊する。12日は児童会主催のロング集会である。縦割りで構成した班で児童が自ら考えたお店屋さん、様々なゲームを展開し楽しむ。

2つ目、11月6日(金)昼間は校内音楽会、下校後再度登校し、自分の夢や学校への感謝等を書いたランタンを打ち上げる。そのランタンは紐がついており、飛ばした後、回収する。

3つ目、3月6日(土)閉校式典である。校旗返納や記念碑の除幕式が計画されている。

他にも荒川西小学校で例年行われている8月22日(土)親子キャンプファイヤー、10月24日(土)カレー作り、12月2日(水)やきいも集会を実施するにあたり、保護者や地域の方の参加を呼び掛けている。5月16日(土)に行われた運動会では、例年以上に大勢の方に参加いただき、教職員は地域に愛されていることを実感した。地域の方々から学校の中に入れるイベントを企画して欲しいという意見をいただき、9月のお泊まり会の中で寄せ書きや学校内を見学する企画を検討している。また、運動会で閉校記念Tシャツ20枚を用意し、販売したが、全て完売し、長袖やポロシャツの販売希望が出ている。校舎のライトアップお泊まり会の時に再度販売が計画されている。引き続き笑顔で閉校できるよう準備を進めていく。

2点目、新規事業で行われる秩父圏域県立3高校の紹介動画配信である。昨年度、秩父地区の中学生が秩父高等学校、秩父農工科学高等学校、小鹿野高等学校をバスで訪問し見学していた。今年度は、3つの高校の紹介動画をYouTubeで配信予定で、その動画を視聴後、中学生が地域の高校を見学することで、今後の進路選択の一助とするのが目的である。現在、おもてなしTVと各高校で打ち合わせを進めている。配信は7月上旬を目指し撮影を進めている。

前回、2番委員からの質問に対して、秩父市教育大綱について回答する。秩父市教育大綱を受け、教育委員会では、秩父市学校教育推進プランを毎年見直し、ブラッシュアップ後、印刷し、各校各教室に掲

示するよう配布している。なお、教育大綱については、4月13日校長会議で提示し、説明を行った。それを受け、校長が学校へ持ち帰り、職員会議や集会などで職員に周知している。各学校で毎年作成されるグランドデザインは、どのような学校にしたいか、児童・生徒にどんな力を育てたいかなど、方針を校長が作成し示している。その中に取り入れられている学校もあった。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

【質疑・応答】

- 1 番 委 員 : スポーツ振興会の保険の関係で、加入者が145名減ってるとのことだが、この保険の金額は600円くらいか。
- 保健給食課長 : 掛け金は、935円で、その内、保護者負担が460円で、市の負担が475円となっている。ただ、要保護世帯と準要保護世帯から、徴収はしていない。
- 1 番 委 員 : 460円でも未加入なのか？
- 保健給食課長 : 加入者が減っているのは、児童・生徒数の減少で、未加入は、ないと認識している。
- 1 番 委 員 : 3高校の動画配信は、昨年度までは、バスで回ってたのをやめて、動画配信になるということか？
- 教育研究所長 : バスはなくなり、紹介動画をQRコード等で読み込み、各教室で生徒達が見て、8月3日の合同説明会に足を運ぶということになる。
- 2 番 委 員 : 児童生徒教職員集計表を見ると、児童・生徒数は減っているが、学校によって教職員数が増えている学校や減っている学校があるが、どのような基準で決めたのか。
- 学校指導監 : 埼玉県の学級編成の基準は、毎年同じ基準ではあるが、国と県の加配数の配当が年によって違いがある。また、特別支援、通級指導教室の増加により増えている状況もあり、数のアンバランスが生じている。
- 2 番 委 員 : 欄外に加配とか、書き加えておいた方が良いと思う。
学校教育課長、申請の手続きは簡素化されているのか。
- 学校教育課長 : 入学祝い金は、紙のやり取りで100パーセントだが、修学旅行補助金は、電子申請と紙で口座がなくても対応している。卒業祝い金は、申請に親しみやすい意味でLINEを使った申請で、入力をできるだけ少なくした。こちらも紙でも対応し、口座がなくても対応している。
- 2 番 委 員 : 外国国籍の方の申請は。
- 学校教育課長 : 外国国籍の方についても、対応はできている。
- 2 番 委 員 : 申請がない場合、配慮していただければと思う。

6 議案審議

- 教 育 長 : 議案第14号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。
- 秩父図書館長 : 議案第14号「秩父市図書館協議会委員の委嘱」についての提案理由及び説明を述べる。
- 教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することとでいかがか。
(「異議なし」という声あり)
異議なしと認め、議案第14号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

- 教 育 長 : 後援等について、説明を求める。
- 教育総務課長 : 別紙のとおり、11件の協議をお願いする。
- 教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することとでいかがか。
(「異議なし」という声あり)
それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 6月教育委員会定例会の日程について

- 教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。
- 教育総務課長 : 6月教育委員会定例会について、6月25日(木)午後1時30分から歴史文化伝承館5階第1会議室において開催することを御提案させていただきます。
(「異議なし」という声あり)
- 教 育 長 : それでは、6月教育委員会定例会については、6月25日(木)午後1時30分から、歴史文化伝承館5階第1会議室にて開催する。

8 その他

- 教育総務課長 : 総合教育会議についてお知らせする。8月5日に開催予定で通知したが、諸般の事情により、8月5日を延期し、9月30日(水)の教育委員会定例会終了後に、開催させていただきたい。

9 閉会

- 教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会5月定例会を閉会する。